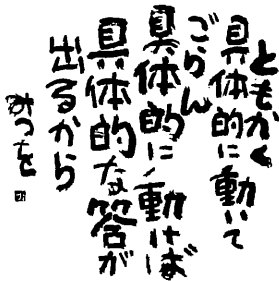


さくら第501号

令和 3年 9月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬 重雄
春江町境 17-7: ㊟51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp

『好奇心はやる気アップ』

2020東京オリンピックが7月23日～8月8日まで東京の国立競技場で開催され、世界の205の国と地域そして難民選手団など11,092人の選手を迎えて17日間(7月21日・22日はサッカーとソフトが開催)にわたり、33競技、339種目に4年間の成果を競いました。

競技会場はコロナ過で無観客のためテレビ観戦し新聞などで報道された活躍は多くの人に感動と夢をもたらしました。

また、第16回夏季パラリンピック東京大会が8月24日に同競技場で開催され、161の国・地域と難民選手団をあわせ4,403人の選手が障害を乗り越えて活躍しています。

この2つの大会に参加する選手たちは日ごろ、どのようなトレーニングを行い、どのような生活スケジュールを過ごしているのか興味と関心がわきます。

ところで「好奇心」という言葉があります。分からないものに対してその理由や意味を知りたいと考えるのは誰しも同じです。目新しいものに出会うと人は驚きが先に立ち、それから好奇心が生まれるか恐怖が生まれるかのどちらかだといえます。

「好奇」とはめずらしいことに興味を示し、知らない事や初めてのことに対して関心を持つこと。「心」は精神、気持ち、人間の感情ということです。好奇心は人間だけのものではなく動物にも見られることから、特に子どもは経験が浅いので好奇心がおうせいです。

「好」という字は、女性がひざまづく姿を描いた「女」と、幼子の姿を描いた「子」という文字

を組み合わせた字です。つまり、好きという字はもともと母親が子どもをだきしめている様子が描かれています。

「奇」という字は、家をたよりにする様子を漢字にした形成文字です。「心」の漢字の成り立ちは、心臓をかたどって作られた象形文字で思想、感情などを表すのに用いられます。

ところで、学校支援そろばんボランティア授業で2020年1月23日に日新小学校へ出向いたおり、エジプトから女性6名の教育視察団が来られ、そろばん授業を見学されると前日に校長先生から伺いがい、いそいでエジプト語(アラビア語)でのあいさつを調べました。

こんにちは＝「アッサーラム・アライクム」。ありがとう＝「シュ克蘭」。さようなら＝「マッサラマ」。またあいましょう＝「イラツリカー」です。

時々、メモ紙を見ながら言葉を交わしたところ笑顔が返ってきました。うれしかったです。

ある回転寿司へ行った時、40歳代と思える外国人が握っており、店の人に訊けばドイツ人とのこと。帰る時にありがとうの「ダンケシェーン」と言えば、笑顔でダンケシェーンと手を振っています。その昔、繊維会社に勤務していた時にドイツ人技術者から耳にした言葉をとっさに思い出したのです。

帰宅後、こんばんは＝「グーテン アーベン」、元気ですか＝「ブイーゲーツエスディア」、さようなら＝「チュース」をネット検索。

家の近くを自転車で行く中国人、ベトナム人が多くいます。この人たちと簡単なあいさつを交わすだけでも楽しいな、おもしろいなと興味がわき、単語をおぼえようと思います。

ささいな事でも、なぜかな、どうしてそうなるのかな、不思議だなど思う事に対して好奇心を持つと今まで知らなかったことが分かり、できないと思うような事にもチャレンジしようという勇気と元気がでます。

必要は発明の母というように、好奇心はやる気をアップさせる泉です。あなたは今、どんなことに興味と関心がありますか。サア、一歩だけ前進しましょう。知る事は楽しみです。